

産業観光
きりゅう紀行④



産業遺産と和菓子の ベストマッチング

菓匠 青柳ノコギリ屋根店 (旧東洋紡織工場)

桐生川にほど近い東七丁目、ノコギリ屋根工場を店舗に転用した(有)青柳（宮地由高社長）の和菓子店が連日多くのお客で賑わっている。

同店はその名の通り旧東洋紡織工場を再生した店舗。雄大で端正な姿のノコギリ屋根工場は、六連という桐生の中では最大規模の工場。三連が大谷石造り、三連が木造である。店舗となっている大谷石造りの建物は戦前に建設された。昭和28年に東洋紡織工場として稼働を始め、広い工場内には50台もの織機が置かれ、富士絹などを製織したが、昭和43年に操業を停止、その後は、倉庫などとして使われていた。



数年前から東京芸大出身のアーティストや学生たちが「桐生再演」の会場として使ったり、市民有志たちの自主映画上映会の会場ともなったりしていたが、平成21年5月30日に青柳の店舗として開店した。

店内は高い天井や北向き採光などノコギリ屋根の特徴を存分に活かしつつも、宮地社長が特に留意したと言うように、食品を取り扱う店らしく明るく清潔感に溢れている。また、店内一角にはガラス張りの工場があり、「このどら」と名付けたどら焼きづくりの工程を見学することもできる。

木造の三連の工場はイベントスペースとして活用されており、今後の展開にも期待が持てる。産業遺産と伝統の和菓子との組み合わせが新しい可能性を予感させる。

桐生市東 7-3-62

☎ 0277-45-2120